

## ユニット1

# チームリーダー入門

## このユニットのねらい

ユニット1は、チームリーダー（以下リーダーと略します）を自ざすメンバーが、職場で活躍するための役割と心がまえ、身につけるべき力を取り上げています。

リーダーは、会社の現場の責任者として環境の変化に対応しながら与えられた目標を達成することが役割です。そのためリーダーは、メンバーが持っている持ち味や力を十分に引き出し、メンバーを成長させます。また、リーダーになれば、上司とメンバーたちをしっかりとつなぎ、メンバーの先頭に立って会社全体や職場を元気にするという大事な役割もあります。

そこで「チームリーダー育成講座」の入門となるユニット1では、会社が期待するリーダーの姿とリーダーに求められる能力、仕事のルールなどを広く学んでもらう内容としました。

## ユニット2

# リーダーシップをとる

## このユニットのねらい

ユニット2は、リーダーが生産や建設の現場において実際に発揮しなければならないリーダーシップについてとりあげます。

リーダーは、チームのメンバーを一つにまとめ、会社やチームの目標を達成するためにリーダーシップを発揮する必要があります。しかし、リーダーになったからといって、すぐにリーダーシップが発揮できるわけではありません。リーダーシップについての基本的な知識や身につけておくべきスキル（技能）など、メンバーを正しく導いていくためにリーダーとして知っておかなければならないことがあります。

そこで、ユニット2では、会社から求められるリーダーシップとはどのようなものなのか、その目的や役割、発揮の仕方などについて学びます。

### ユニット3

## チームを動かす

# このユニットのねらい

ユニット3は、リーダーが引っ張っていくチームとはどういうものか、そして、それをどうまとめ、メンバーの力を強めていくかということを取り上げます。

チームには目標があり、それをメンバー全員で達成していくことが大事です。リーダーはそのために、メンバーの持っている特徴や能力をよく把握するとともに、メンバーの間の関係がどうしたらうまくいくかを常に考えます。特に、メンバーに対する指示の出し方や会議の運営の仕方なども含めて、コミュニケーションを良くすることがリーダーの重要な役割です。

このユニット3では、ユニット2で学んだリーダーの役割や能力を、目標の達成に向けて良いチームづくりにどのように活かしていくのかを学びます。

## ユニット4

# チームで取り組む

## このユニットのねらい

ユニット4は、リーダーがメンバーをまとめ上げながら、生産や建設の現場において実際に取り組んでいかなければならない役割について見ていきます。

現場のリーダーには、会社全体の視点から現場に求められていることを十分に理解した上で、現場をしっかりと管理し、優れた製品や工事を効率よく仕上げていく役割があります。そのためには、現場でおこるさまざまな課題や問題の解決を図りながら、メンバーが安心して、やる気をもって働くことのできる職場をつくっていかねばなりません。

そこで、ユニット4では、現場において、リーダーに求められる管理に関する知識を中心に学びます。

## ユニット5

# 会社のしくみを理解する

## このユニットのねらい

ユニット5では、会社がどういうしくみになっているか、また会社の経営はどのように進められているかを学びます。

これまで、みなさんはチームリーダーを自覚して、仕事をしている現場でのことがらを中心に勉強してきました。それは会社全体から見れば、大きな組織の一部の動きでしかありません。ここでは、会社全体という立場に立って、会社を経営する人は、どういうことを考え、また実行しているのかを学びます。経営に使うやや難しい言葉も出てきますが、その考えは決して複雑なものではありません。チームリーダーもさらに経験を積んで上の立場になれば、会社全体を考えることが必ず求められます。そうした気持ちを持って、このユニットを学びましょう。

## ユニット6

# じぎょう 事業をおこす

## このユニットのねらい

このユニットでは、自分で事業をおこすときの心<sup>こころ</sup>がまえや準備<sup>じゆんび</sup>すべきことを取り<sup>と</sup>上げています。

事業をおこそうとするときは、自分の志<sup>じ</sup>や夢<sup>ゆめ</sup>をしっかり持<sup>も</sup>っていることが大切<sup>たいせつ</sup>です。そのためには、まず、自分自身<sup>じぶんじしん</sup>についての理解<sup>りかい</sup>を深<sup>ひか</sup>める必要<sup>ひつよう</sup>があります。「やりたいこと」「やれること」「やるべきこと」の3つについてテキストを<sup>よ</sup>読みながら具体的に<sup>くたいてき</sup>考えて<sup>かんが</sup>てください。

あなたは、日本<sup>にほん</sup>での技能実習<sup>ぎのうじっしゅう</sup>によって経験<sup>けいけん</sup>を積み「やれること」は<sup>あ</sup>増えているはず<sup>はず</sup>です。その「やれること」を<sup>もと</sup>土台<sup>どだい</sup>に「やりたいこと」を見<sup>み</sup>つけてください。

アジアの<sup>あじあ</sup>経済<sup>けいぎ</sup>はこれからさらに成長<sup>せいしやう</sup>します。その<sup>けいざいはってん</sup>経済発展<sup>けいざいはってん</sup>の中で、みなさんの「やりたいこと」と「やるべきこと」を見<sup>み</sup>つけてください。